

CLTの開発・普及

CLT(クロス ラミネイティド ティンバー: 直交集成板)とは

- CLTとは、ひき板を繊維方向が直交するように積層接着した重厚なパネル。
- 欧米を中心にマンションや商業施設などの壁や床として普及しており、我が国においても国産材CLTを活用した中高層建築物等の木造化による新たな木材需要の創出に期待。

CLT(スギ)



海外における事例



共同住宅（イギリス）

国内でのCLT建築事例



共同住宅（福島県河沼郡湯川村）

CLTのメリット

コンクリートより軽い

建物の重量が軽くなり、基礎工事等の簡素化が可能



CLT

1枚約220kg

(1m × 3m × 厚さ18cm)



コンクリート製品

1枚約500kg

シンプルな施工

型枠職人等熟練工への依存が少なく、工期の縮減が可能



CLT建築物国内
第1号(高知県)

構造部分の組立は
2日間で完了
＝工期の大幅短縮

木材利用量の増加

延べ床面積あたりの木材利用量は在来軸組工法に比べて2倍以上



CLT建築物の内部
(イギリス共同住宅の例、内装工事前)